

L'AUTOMA

Dopo essersi vestito^{*1}, Guido andò a guardarsi nello specchio dell'armadio e provò, come il solito, un senso di insoddisfazione. Infatti^{*2}: aveva addosso^{*3} tutta roba nuova e di prima qualità, giubba nuova a spina di pesce^{*4}, pantaloni nuovi grigi di flanella, cravatta nuova a strisce vivaci, calze nuove di lana rossa, e scarpe nuove di camoscio^{*5}; eppure non era elegante, pareva un manichino nella vetrina di un grande magazzino.

Guido uscì dalla camera da letto il cui disordine^{*6} gli dava fastidio e passò nella stanza di soggiorno. Qui tutto era pulito, ordinato, luminoso; Guido si sentì di nuovo tranquillo benché^{*7}, poi, fin dal momento del risveglio, quella mattina, lo tormentasse il sospetto di aver dimenticato qualche cosa^{*8}: un appuntamento? una telefonata? un pagamento? una ricorrenza festiva? Alla fine scosse la testa e si avvicinò al giradischi, nell'angolo presso il camino. Il giradischi, di marca americana, era automatico; ossia,

- * 1. dopo essersi vestito ⇒ 〈dopo + essere (avere) + 過去分詞〉で、「～した後で」の意味。ここでは再帰動詞 vestirsi の si が essere の語末に置かれ、essersi となっている (p.122 参照)。
- * 2. infatti ⇒ 前の文章の内容に即した説明を加えるときに使う接続詞。「というのも」「たしかに」。続くコロン〔:〕は、イコールに置き換えて理解する。
- * 3. avere addosso ⇒ 「身に着けている」。addosso は「背中に」と誤訳されやすいが、「背中」に限られた意味はなく、体全体を指す。
- * 4. a spina di pesce ⇒ 「魚の骨の柄の」= 「ヘリンボーンストライプの」。
- * 5. scarpe nuove di camoscio ⇒ camoscio は「カモシカ」だが、一般的に「スエード」を指す。「スエードの新しい靴」。

オートマ人間

服を着ると、ガイドは洋服筆筒の鏡の前に行って自分の姿を見た。そして、毎度のことだが、何かしら不満な気がした。たしかに身に着けているものはどれも新しく、高級品ばかりだ。ヘリンボーンの新しいジャケットに、グレーのフランネルの新しいズボン、鮮やかなストライプの新しいネクタイに、赤いウールの新しい靴下、そしてスエードの新しい靴。それでもとてもエレガントとは言えず、デパートのショーウィンドウに置かれたマネキンのように見えた。

寝室が散らかっていることに嫌気がさしていたガイドは、部屋を出てリビングに行った。そこは隅々まで掃除が行き届き、整頓され、明るかった。ガイドはようやく平静をとり戻したが、その朝は、目覚めたときから、何か忘れていないのではないかという思いに苛まれていた。待ち合わせ？ 電話？ 支払い？ 何かの記念日？ しまいには頭をふり、暖炉脇の角にあるレコードプレーヤーに歩み寄った。アメリカ製のそのプレーヤーは、^{オートマ}自動式だった。つまり外側にあるボタンを押すと、針のついた

- * 6. il cui disordine ⇒ 所有格をあらわす関係代名詞 (p.263 参照)。「その散らかりようが」。
- * 7. benché ~ lo tormentasse il sospetto di ... ⇒ 〈benché + 接続法〉で「～であるにもかかわらず」(p.239 参照)。benché から tormentasse まで長い挿入句があるので、つながりを見落とさないように注意する。il sospetto は、tormentare の主語。→ 「…という疑念が彼を苛んでいたにもかかわらず」。
- * 8. il sospetto di aver dimenticato qualche cosa ⇒ 「何か忘れてのではないかという疑念」。前置詞 di の後なので 〈avere (不定形。aver と、語末の e が落ちる) + 過去分詞〉となり、疑念が湧いた時点よりも前に忘れたことを示す。コロン〔:〕以下に qualche cosa の具体例が列記されている。

文法ポイント 過去分詞の用法

過去分詞は、近過去や大過去、条件法過去といった複合時制において用いられるだけでなく、名詞や形容詞となることもあります。また、従属節においては、時間や条件、原因などをあらわす分詞構文としてしばしば用いられます。

名詞としての用法

過去分詞が名詞として用いられる場合は、「～された人・物」という受け身的な意味を持ちます（一般の名詞と同様に語尾変化する）。なかには、impiegato〈会社員←雇われた人〉や carcerato〈受刑者←投獄された人〉、prefabbricato〈プレハブ←あらかじめ製造された物〉などのように、すでに一般的な名詞となって独立している過去分詞も少なくありません。逆に、名詞としては辞書に載っていないようなものでも、たとえば gli affascinati〈魅了された人たち〉のように名詞を作ることがしばしばありますので、注意が必要です（人をあらわすことが多い）。その場合、定冠詞や不定冠詞を伴うので、過去分詞のほかの用法と混同することはないでしょう。

形容詞としての用法

他動詞の過去分詞は、受け身的な意味を持つ形容詞になることができます。

◆ le aiuole coltivate a tulipani e gli alberelli tagliati a forma di palla...

[Moravia]

チューリップの植えられた花壇と、球の形に刈り込まれた植木……

→ それぞれ coltivare〈栽培する〉と tagliare〈刈る〉という過去分詞が、形容詞として直前の名詞を修飾しています。このとき、通常の形容詞と同様、過去分詞の語尾は修飾する名詞に合わせて変化します。

◆ La famiglia uscì in una strada angusta, fiancheggiata di palazzi nuovi e ingombra di macchine allineate lungo i marciapiedi. [Moravia]

一家は新しい建物が立ち並び、歩道に沿って並べて駐められた何台もの車で場所がふさがれている狭い通りに抜けた。

→ fiancheggiare〈脇に並べる〉の過去分詞 fiancheggiata と形容詞 ingombra〈ふさがった〉がそれぞれ una strada angusta を修飾し、ingombra している物である macchine がさらに allineare〈列に並べる〉の過去分詞 allineata で修飾されているという入れ子のような構造になっています。

◆ oggetti perduti ritrovati [Papini]

拾得された遺失物

→ perdere〈失くす〉の過去分詞 perduto と、ritrovare〈見つける〉の過去分詞 ritrovato の2つが oggetti を修飾しています。直訳すると「紛失されて、見つけられた品物」。

分詞構文

従属節における過去分詞は、条件、譲歩、時、理由など、様々な意味合いで用いられます。その時々で役割が変わるので、注意して読むようにしましょう。

◆ Premuto un bottone esterno, il braccio con la puntina si alzava da solo... [Moravia]

外側にあるボタンを押したなら、針のついたアームがひとりでに持ち上がり……

→ 【条件】 premuto という過去分詞が、「ボタンが押されたならば」という条件をあらわす従属節を作っています。これは se era premuto と置き換えることができます。

◆ Guido, assai sconcertato, inserì un altro disco... [Moravia]

ガイドはかなり困惑したものの、別のレコードを入れた……

→ 【譲歩】 pur essendo assai sconcertato と置き換えられます。

◆ Ma superato il punto più alto, Guido si trovò di fronte ad un piccolo prato. [Moravia]

だが、いちばん高い地点を通り越すと、ガイドは小さな草地の前に出た。

→ 【時】 quando aveva superato と置き換えられます（時をあらわすときには、必ず主節より以前に完了していることを表現する）。